

【アメリカ】次期大統領候補、ジョン・マケイン上院議員の対アジア政策

- * 2008年11月に行われる米大統領選挙の共和党候補指名が確実なジョン・マケイン上院議員は、アジア政策についてどのような構想を持っているのか。その手がかりとなる論考が幾つか公表されている。以下はそれらを概観するものである。

同盟国を第1に—グローバル・パワーとしての日本の役割に期待

マケイン氏がまず重視するのが世界レベルでの「民主主義連盟」である。故に、日米同盟をアジア太平洋における平和、繁栄及び自由を支えるのに欠かせない存在であると位置づけている。また日本の前政権がアジア地域に広がる「自由と繁栄の弧」に言及したことなどに触れ、日米同盟の強さは、共有する利害にだけでなく共有する価値にも根ざしていることを挙げている。この点は前者のみを共有する中国とは異なるとしている。日本が国際的なリーダーシップをとりグローバルな大国となることを歓迎し、価値に基づいた外交を行うことを促し、国連安保理常任理事国入りを支持している。

アジアにおける安全保障と経済及びそのアプローチ

アジアにより安全で繁栄できる自由な世界を打ち立てるためには、米国の強力なリーダーシップと関与—孤立主義ではなく国際主義が、また保護主義ではなく自由貿易—が要求されるとしている。中国に対しては利害を共有する面がある一方、共有できない価値もあり、利害の重なる部分により強固な米中関係を築くために、アジア諸国との強力な同盟関係が必要になるとみている。また北朝鮮に対しては、対話と圧力によって対処していくとする。経済関係はいっそうの自由化を目指すと主張している。

その一方で、アジアにおいても米国の単独主義を戒めている。例えば、「イラクからの米軍撤退がアル・カーイダの勢力を助長し、アジアにおける米国の立場を損なう」と警告する、アジア諸国の首脳の声をよく聞くべきだと述べている。このような協調的な態度を強調することによって、同じ共和党であるブッシュ政権初期との違いを打ち出している。

参考文献(インターネット情報はすべて2008年7月22日現在である。)

- John McCain, “An Enduring Peace Built on Freedom: Securing America’s Future,” *Foreign Affairs*, November/December 2007. <<http://www.foreignaffairs.org/20071101faessay86602/john-mccain/an-enduring-peace-built-on-freedom.html>>
- John McCain and Joseph Lieberman, “Renewing America’s Asia Policy,” *The Wall Street Journal*, May 27, 2008. <http://online.wsj.com/public/article_print/SB121183670827020887.html>
- John McCain and Joseph Lieberman, “Putting Our Allies First: U.S.–Japan ties bedrock of Asian peace,” *Daily Yomiuri*, May 29, 2008. <<http://www.yomiuri.co.jp/dy/columns/commentary/20080529dy02.htm>> (高木 綾・海外立法情報課)